

A
LAB

A-LAB
Exhibition
Vol.47

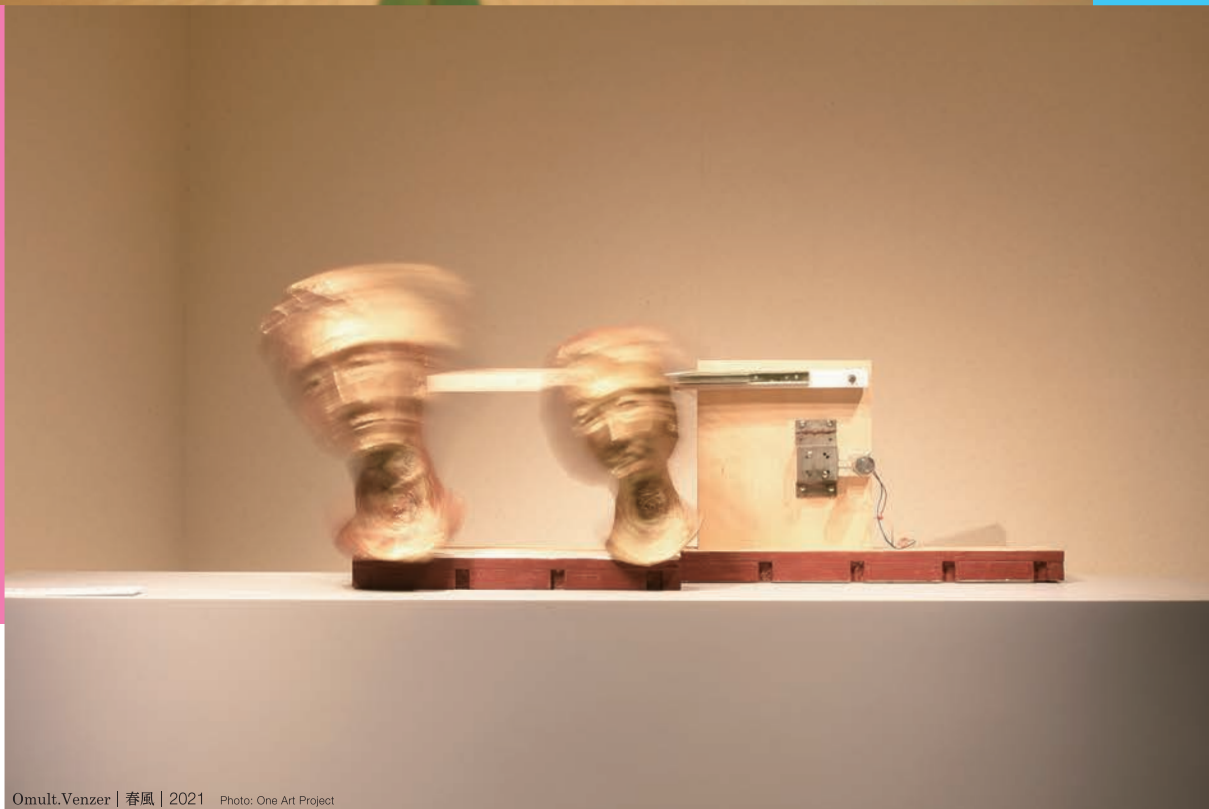
池原悠太

Omult.Venzer



池原悠太 | 国際芸術祭BIWAKO BIENNALE 2022 “起源～ORIGIN～”

ロ
ツ
ク
と



Omult.Venzer | 春風 | 2021 Photo: One Art Project

演歌(仮)

午前10時 → 午後6時
火曜日休館
入場無料

2025年4月26日(土) → 6月22日(日)



Omult.Venzer | 仔鹿・ニューボーン | 2018

それぞれのアーティストをご存じの方は、なぜこの2組が一緒に展示をするのだろうかと首を傾げられるかもしれません。池原悠太はデジタルと日本画・油画などの技術を駆使し

て万物が流転する終末的な美の世界を描き、国内外の芸術祭やアートフェアで活躍しています。一方、Omult.Venzer (オマルトヴェンザー) は主に関西に出没する謎のクリエイターで、無意味な機械装置や架空の資料などを並べて脱力アートとも言うべきゆるめの展示活動を行っています。これまでも、そしてこれからまったく接点のなさそうな2組ですが、異質の素材を融合してテーマを表現する手法、アートマーケットに対する肯定的もしくは否定的な態度など、両者に共通する切り口はいくつか見出すことができます。展覧会タイトルは、Omult.Venzerが知

人にこの企画の話をした時、「まるでロックと演歌のようだね」と言われたというエピソードから引用しました。



池原悠太 | くどやま芸術祭2023

展覧会タイトルは、Omult.Venzerが知

人にこの企画の話をした時、「まるでロックと演歌のようだね」と言われたというエピソードから引用しました。

展覧会タイトルは、Omult.Venzerが知

人にこの企画の話をした時、「まるでロックと演歌のようだね」と言われたというエピソードから引用しました。



池原悠太 | 六甲ミーツ・アート芸術散歩2020



Omult.Venzer | 自己PR放送 どんなひと!?オマルト・ヴェンザー | 2020

はたしてこの2組による展示は、水と油のようにまったくなじまないものになるのか、あるいは意外と相性が良いのか? A-LAB (えーらぼ) で繰り広げられるアートの実験を、ぜひお楽しみください。

イベント

アーティストトーク 4月26日(土) 午後2時~3時

展示作品や企画にまつわるエピソード、面白い話などを
出展作家に伺います。定員先着20人。
メール (amalove.a.lab@gmail.com) で申込必要。
(イベント名、氏名、電話番号、参加人数を明記)

出展作家

池原悠太 IKEHARA Yuta



再生や輪廻といった東洋思想をテーマに作品を制作しています。自然界と人間社会を想起させるメタファーとして動植物や人工物、ノイズなどが混成する世界を描いています。ペインティングや写真、画像、テクスチャなどのコラージュを用いて、あらゆる事物が大きな潮流の中で渾然一体となり循環していく様を表現しています。あらゆるものは衰亡と再生のプロセスの中にあると考え、その過程に価値を見出しています。

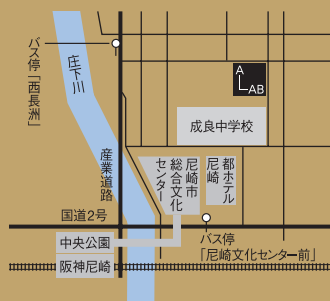
Omult.Venzer オマルトヴェンザー



「遊びの延長」を理念とする造形アートブランド。「もの作りは生活を豊かにするための根源的な遊びである」との考えから、諧謔的な表現で日常について問いかける「もの作り」を実践し続けている。近年は、より豊かな生活を実現するための手段として「もの作り」を捉え、「遊びの延長」を表現する造形製作活動を行っている。

A
LAB

2025年4月26日(土)―6月22日(日) 開館時間 | 午前10時―午後6時
休館日 | 火曜日 (ただし4月29日、5月6日は開館、4月30日、5月7日は休館)
入場料 | 無料



住所

尼崎市西長洲町 2-33-1
※会場に一般用駐車場はありません

問い合わせ先

A-LAB | TEL / FAX 06-7163-7108

尼崎市文化振興課

TEL 06-6489-6385 FAX 06-6489-6702

ama-a-lab.com

Facebook @amalove.a.lab

Instagram @alab_amalove

